

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公表番号】特表2012-519097(P2012-519097A)

【公表日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-033

【出願番号】特願2011-552930(P2011-552930)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/26 (2006.01)

B 4 1 M 5/382 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/26 Z

B 4 1 M 5/26 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月15日(2013.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

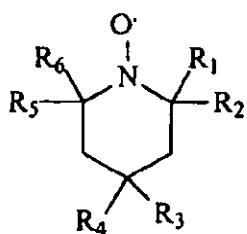
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリマー支持体を含み、当該ポリマー支持体の少なくとも一部が熱転写可能な材料によりコーティングされており、当該熱転写可能な材料が、ポリマーバインダー及び光安定剤を含み、当該光安定剤がヒンダードアミンから誘導されたN-オキシルラジカルであり、当該N-オキシルラジカルが下記式：

【化1】



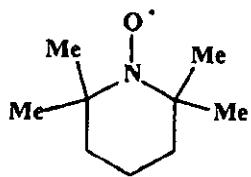
(式中、R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>、R<sub>5</sub>及びR<sub>6</sub>は、直鎖又は分岐C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル又はアルケンからそれぞれ独立に選ばれ、R<sub>3</sub>及びR<sub>4</sub>は、H、OH、OR、COOH又はCOOR(式中、Rは直鎖又は分岐C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル又はアルケンである)からそれぞれ独立に選ばれる)

により表され、600以下の分子量を有する、熱転写可能な供与体要素。

【請求項2】

N-オキシルラジカル光安定剤が、

【化2】

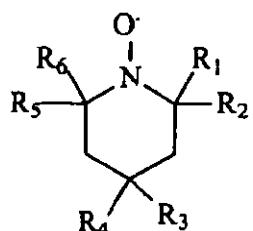


である、請求項1に記載の供与体要素。

【請求項3】

熱転写可能なポリマーバインダー及び光安定剤を含み、当該光安定剤がヒンダードアミンから誘導されたN-オキシルラジカルであり、当該N-オキシルラジカルが下記式：

【化3】



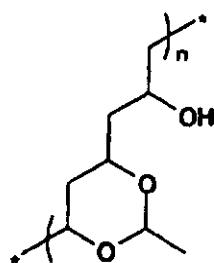
(式中、R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>、R<sub>5</sub>及びR<sub>6</sub>は、直鎖又は分岐C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル又はアルケンからそれぞれ独立に選ばれ、R<sub>3</sub>及びR<sub>4</sub>は、H、OH、OR、COOH又はCOOR(式中、Rは直鎖又は分岐C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル又はアルケンである)からそれ各自由に選ばれる。)

により表され、600以下の分子量を有する、熱転写可能なオーバーコート材料。

【請求項4】

さらに、式I：

【化4】



(式中、nは10～100である)

から選ばれる少なくとも 1 種の樹脂、スチレン / アリルアルコールコポリマー、及びそれらの組み合わせを含む、請求項 3 に記載のオーバーコート材料。

**【請求項 5】**

受容体要素を保護オーバーコート材料でコーティングする方法であって、  
請求項 1 又は 2 に記載の供与体要素を受容体要素と接触させること、及び  
供与体要素から受容体要素に保護オーバーコート材料を転写させるのに十分な熱又は圧  
力を加えること、

を含む、方法。

**【請求項 6】**

請求項 1 又は 2 に記載の供与体要素の少なくとも一部と接触した受容体要素を含むサー  
マル転写集成体。